

◇看護学研究科(博士前期課程) 主要科目の特長

科目	特長
看護学研究方法特論	高度看護専門職者あるいは管理者・教育者として、看護の質を向上させるための研究を遂行できる知識を深化させる。看護研究の特殊性、倫理性及び看護研究の歴史的発展を理解し、研究方法を学ぶとともに、文献クリティークを通して、自らの研究を実施するための研究方法を修得する。
疫学・統計学特論	地域、職域、学校、臨床などの場において、集団の健康状態とその背景因子の把握・分析、介入（治療）効果の評価に不可欠な「疫学」「統計学」に関して、基本的な考え方と手法を学修する。疫学では疫学研究方法の基礎および実践の際の問題点とその克服について考察する。各々の疫学的研究手法を検討するため文献をクリティークし、研究計画を立案する。統計学では基本的な統計解析の手法および関連指標について学修する。
看護倫理学特論	臨床における救急救命医療、集中治療、がん看護などで起こる倫理的問題を理解し、実践現場での医療における倫理に関する知識を深める。看護研究における倫理では、科学研究の自由への保証と規制、倫理原則、不正行為、利益相反、対象者への権利保護、データ保存、管理を理解し、自らの研究を実施するための看護倫理を修得する。
看護理論特論	看護実践や研究の基盤となる看護理論や看護モデルを理解した上で、看護大理論や中小範囲理論の構造と特徴に関する知識を深め、科学的なアプローチにより開発された諸理論を活用し、自らの実践・研究・教育に応用できる能力を修得する。
看護教育学特論	看護学の実践と教育における教育的機能を、看護者としての倫理的態度をもって効果的に果たすために、教育心理学・教育学の知識を基盤とした教育的能力と教育に携わるものとしての資質を養う。学習過程における学習理論、教育指導の方法論、教育評価、臨地実習指導方法、カウンセリング技法、クライアント及び家族に対する教育介入計画の立案から評価に至るプロセスについて教授する。
臨床死生学特論	急速に変化する現代社会の人々の死生観は、身体的・精神的・社会的および霊的な問題が複雑に重なり多様化している。人々の死生観とその背景を理解し、これらの課題について柔軟に対応した看護を推進するために、地域や国、文化などを背景とした文化人類学、宗教学などの人間存在に対する深い学知を修得し、死生観を理論的・思想的に考究する。
エンドオブライフケア特論	エンドオブライフケアの基礎的概念や諸理論を理解し、わが国のエンドオブライフケアの現状と課題について認識したうえで、その課題に対処するために、理論と実践を融合した科学的なアプローチを高めることを目的とする。（本科目は、本課程の全ての領域を専攻する者を対象とする。）
保健医療福祉学特論	保健医療福祉政策の歴史的背景及び財政医療供給体制の課題を踏まえ、諸外国と我が国の保健医療福祉政策の実情、保健医療福祉関係者と連携して課題解決に向けた取組みをする必要性を理解し、地域包括ケアシステムの構築方法、今後のケアサービスの展望について教授する。

◇看護学研究科(博士前期課程) 主要科目の特長

科目	特長
看護教育管理学特論	看護ケアの質向上のための看護教育と看護管理のあり方を探求する。看護教育については、看護職における基礎教育、継続教育の現状と課題について理解を深め、看護職に対する教育のあり方を考察する。看護職への教育的働きかけ、教育環境づくりなど、効果的な教育を実施していくための知識や理論について学修する。看護管理については、看護を取り巻く保健医療福祉の現状を理解し、多職種との連携を含めた、看護管理者としてより質の高い看護を提供するための方策を探求する。
看護教育管理学特論演習	看護ケアの質の向上のための看護教育と看護管理について、実施した教育の評価と改善のためのあり方を演習により探求する。看護教育では、看護職における基礎教育、継続教育の評価方法の現状と課題について理解を深め、教育のあり方を考究する。看護管理では、保健医療福祉の現状や課題を考察し、多職種と連携した質の高い看護に向けた研究課題を焦点化し、方法論や組織の課題解決に向けた方法を探求する。
長寿科学看護特論	生理学的視点と整形外科的観点から、高齢者の特徴を理解した上で科学的に分析し、心身の健康の維持増進による健康寿命を延伸する支援方法を検討する。長寿社会のあるべき姿を多角的に捉え、対象者が長寿を全うするための方策を考究する。
長寿科学看護特論演習	生理学的視点と整形外科的観点から、高齢者の特徴を科学的に検証し、心身の健康の維持増進による健康寿命を延伸する方策を検討する。加えて、飛躍的な開発が行われている高齢者を支えるIoTの現状と課題を理解し、長寿社会のあるべき姿を多角的に捉え、健康寿命の延伸とその人なりの「QOL」「QODD」のあり方の探求を、発表と意見交換により深めていく。
エンドオブライフケア看護学特論	エンドオブライフケア看護学の基礎的概念や諸理論を理解したうえで、我が国のエンドオブライフケアの現状について各事例研究を用いて、患者と家族の抱える課題をアセスメントし、より良いエンドオブライフケアの在り方について考究する。(本科目は、主として、エンドオブライフ看護学領域を専攻する者に教授する。)
エンドオブライフケア看護学特論演習	エンドオブライフケア看護学の基礎的概念や諸理論を理解したうえで、我が国のエンドオブライフケアの現状と課題を認識し、患者と家族の抱える課題に対処するため、各事例を踏まえながら、発表と意見交換により、エンドオブライフケアの在り方について考究する。
成人・老年看護学特論	急性期から回復期・慢性期および終末期の成人・老年期の対象者に対してより質の高い看護を実践するための看護の諸理論、クリティカル状況下にある終末期を含めた看護への援助の在り方を理解し、治療環境、生体侵襲における看護実践の評価、予期的対応や危機的介入の援助法について教授する。

◇看護学研究科(博士前期課程) 主要科目の特長

科目	特長
成人・老年看護学特論演習	急性期から回復期・慢性期および終末期の成人・老年期の患者とその家族の身体的および精神的苦痛を分析・評価し、専門的な判断ができる知識・技術および看護援助法を修得し、臨床現場における生活習慣やQOL改善への援助に関するアドバンストフィジカルアセスメントの実践能力を向上するための研究課題を探究する。
母性・小児看護学特論	女性のライフサイクルおよびリプロダクティブ・ヘルスにおける健康の捉え方について理解し、母性看護学の質向上に必要な理論、援助方法について探求する。小児医療・保健・福祉・教育領域における子どもとその家族のQOL向上のための地域生活支援の方策について探求する。
母性・小児看護学特論演習	育成期にある人々、妊産褥婦と新生児及び家族、こどもとその家族について理解し、それぞれの立場と対象者に適した看護を実践するための能力をプレゼンテーション、ディスカッションにより理解を深め、自らの研究課題を焦点化する。
精神看護学特論	精神看護学の目的と概要について理解し、精神障がい者と家族支援に関する理論やモデルを活用し、アセスメントする能力を養う。精神障がい者を生活の視点から捉え、スピリチュアルケアとスピリチュアルカウンセリング、チーム医療における多職種連携、退院調整・退院支援におけるシームレスケア、地域包括ケアシステムについて探求する。
精神看護学特論演習	地域の精神障がい者とその家族の抱える課題に焦点をあて、ケアの質向上に向けた支援方法を探究する。ホスピス・緩和医療とスピリチュアルケアについて、病院で実践を展開する聖職者の立場から多角的に理解し、事例研究を用いエンドオブライフ期におけるカウンセリング法を用いた看護的アプローチを探究する。
在宅看護学特論	さまざまな健康課題を持つ人の在宅看護を可能にするために必要な諸理論やモデルを活用し、在宅終末期医療や在宅看護の質が高まる効果的なケア、関係機関や多職種との連携、ケアシステムの構築など看護職の役割と機能について教授する。
在宅看護学特論演習	在宅看護学領域における看護実践者あるいは管理者・教育者として、看護の質を向上させるために文献クリティークを行い、科学的なアプローチによる援助方法を考究する。高度化する在宅医療の中で、在宅療養者と家族の持つ課題を抽出し、生活を重視したケアの質向上のための研究課題を考究する。
地域看護学特論	地域で生活する人々がその人らしくあり続けるために必要な諸理論、施策を理解し、質の高いQOLおよびQODDへの支援、地域看護活動における関係機関・多職種との連携によるネットワーク形成、ソーシャルキャピタルの醸成によるケアシステムの必要性和地域における看護職の役割について考究する。

◇看護学研究科(博士前期課程) 主要科目の特長

科目	特長
地域看護学特論演習	地域看護学特論で学んだことを基礎にして、地域で生活する個人及び家族、集団などを対象として、多様な人々の健康上の課題やライフサイクル毎のニーズを理解した上で、その課題を探究し、多職種・多機関とのネットワーク形成による地域づくり、まちづくりを目指した包括ケアシステムの構築方法を探究する。
特別研究M	質の高い看護実践の観点から、看護学の発展と革新および精緻な看護に資することができる研究成果を究明する。学生がそれぞれの専門領域において関心のある研究テーマに基づき、研究課題を焦点化、研究方法論の決定、研究計画書、論文作成を行う過程を通し、研究者として必要な能力を修得する。